

平成29年度の事業報告

(平成29年4月1日から同30年3月31日まで)

(研修事業関係)

1 全国篤志面接委員大会(中央研修会)(創立30周年記念大会)を開催した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
中央	中央研修会 平成29年12月5日(火)・6日(水) 中野サンプラザコスモホール 参加者335名 (委員256名, 関係者79名)	・基調講演「矯正行政の現状と課題」 法務大臣官房審議官 大橋 哲 氏 ・研究発表者 2名 ・法務省特別矯正監の講演「特別矯正監として思うこと」 法務省特別矯正監 杉良太郎 氏 ・記念講演「人を育てる, 人に育てられる—柔道を通じて学んだこれからの生き方—」 東海大学副学長 山下泰裕 氏

2 矯正管区管内篤志面接委員研修協議会を開催した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
札幌	平成29年7月20日(木)～21日(金) ホテル日航ノースランド帯広 参加人員 120名 (委員70名, 関係者50名)	・基調講演「十勝の開拓と帯広刑務所, 篤志面接委員の活動について」 元帯広市議会議員 嶺野 侑 氏 ・班別討議 刑事施設4分野5グループ, 少年施設1分野1グループ
仙台	平成29年7月7日(金) 仙台サンプラザ 参加人員106名 (委員66名, 関係者40名)	・基調講演「社会復帰の道標」 特定非営利法人両全トゥネサーレ理事 鷺野 薫 氏 ・自由討議 テーマ「社会復帰へのよりよい篤志面接活動を目指して」
東京	平成29年11月17日(金) さいたま新都心合同庁舎5階共用大会議室 参加人員201名 (委員118名, 関係者83名)	・基調講演「熱をもって接すれば, 熱をもってかえってくる」 SRSボクシングジム会長 坂本博之 氏 ・グループ討議: 10分野 13グループに分け全員参加

名古屋	平成29年11月9日(木) オークスカナルパークホテル富山 参加人員109名 (委員70名, 関係者39名)	・基調講演「犯罪者の改善更生と今, 篤志面接委員に求められるもの」 財団法人全国篤志面接委員連盟常任理事 大川哲次 氏 ・研究発表 4名
大阪	平成29年6月25日(木) ホテル・アゴーラリージェンシー堺 参加人員 187名 (委員109名, 関係者78名)	・基調講演「篤志面接委員の活動に期待すること」 法務省大臣官房審議官(現法務省人権擁護局長) 名執雅子 氏 ・研究発表者 3名
広島	平成29年10月26日(木) 浜田ワシントンホテルプラザ 参加者 96名 (委員53名, 関係者43名)	・基調講演「地域社会って, 何ですか? ~地域はあるが, 地域社会はない~」 社会福法人いわみ福社会理事長 室崎富江 氏 ・研究発表者 4名
高松	平成29年10月17日(火) 国際ホテル松山 参加者 63名 (委員32名, 関係者31名)	・基調講演「共生社会を創る」 元厚生労働省事務次官 村木厚子 氏 ・研究発表者 2名
福岡	平成29年11月15日(水) ~ 同16日(木) ホテルグランドパレス諫早 参加者168名 (委員85名, 関係者83名)	・基調講演「いかに生きるか~教育の現場を通じて~」 社会福祉法人白寿会 久間圭祐 氏 ・分科会 刑事施設5分野・少年施設3分野 6グループ全員参加

3 初任者研修を実施した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
中央	初任者研修会(第4回) 平成29年10月23日(月) ~ 24日(火) 法務省大会議室 参加者65名 (委員58名, 関係者7名)	一日目 ・講話I「矯正行政と篤志面接活動の意義」~刑事施設法を中心に~ 矯正局成人矯正課企画官 齋藤行博 氏 ・講話II「矯正行政と篤志面接活動の意義」~少年院法を中心に~ 矯正局少年矯正課企画官 日笠和彦 氏 ・講話IV「篤志面接活動の歴史, 制

		<p>度と現在の課題」 全国篤志面接委員連盟 理事長 佐藤良彦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班別討議Ⅰ 8班 ・講話Ⅲ「面接指導技術」 駿河台大学心理学部教授 川邊 讓 氏 <p>二日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話Ⅴ「篤志面接活動の施設実務」 府中刑務所教育部首席矯正処遇官 (教育担当) 矢田 豊 氏 多摩少年院首席専門官 (支援担当) 曾根 浩 氏 ・班別討議 8班
--	--	--

4 矯正管区管内篤志面接委員教養訓練を実施した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
札幌	平成29年11月29日(水) ANAクラウンプラザホテル千歳 参加者64名 (委員55名, 関係者9名)	「学びと感動が人を変える～刑務所の中の中学校桐分校～」 作家(元矯正職員) 角谷敏夫 氏
仙台	平成29年11月22日(水) 仙台ガーデンパレス 参加者48名 (委員41名, 関係者7名)	「女子少年院における就労支援から見えるもの」 青葉女子学園非常勤講師 門間尚子 氏
東京	平成30年2月1日(木) さいたま新都心合同庁舎2号館5階 共用大研修室 参加者86名 (委員79名, 関係者7名)	「人育ては自分育て」 千房株式会社 代表取締役 中井政嗣 氏
名古屋	平成29年9月1日(金) 名古屋合同庁舎第3館7階会議室 参加者64名 (委員59名, 関係者5名)	「刑の一部執行猶予制度と保護観察制度」 名古屋保護観察所 首席保護観察官 井坂朱美 氏 統括保護観察官 小池大作 氏
大阪	平成30年2月2日(金) 大阪合同庁舎第4号館4階講堂 参加者85名 (委員81名, 関係者4名)	「就労支援の現状とコレワークの取り組みについて」 大阪矯正管区就労支援情報センター(コレワーク西日本) 室 長 古市浩司 氏 矯正専門職 都坂圭吾 氏

広島	平成30年2月8日(木) 広島矯正管区ゼミナール室 参加者50名 (委員48名, 関係者2名)	(1)「面接技法について」 (2)「現状の篤面の活躍の場について」 広島刑務所分類考査統括 石木道世 氏
高松	平成30年2月8日(木) 高松法務合同庁舎8階 高松矯正管区大会議室 参加者28名 (委員23名, 関係者5名)	「日本の宗教風景」 松山学園教誨師会長 二神瑞隆 氏
福岡	平成30年2月6日(火) 矯正研修所福岡支所第1教室 参加者54名 (委員32名, 関係者22名)	「社会復帰支援における地域生活 定着支援センターの取組」 長崎県地域生活定着支援センター 所長 伊豆丸剛史 氏

(表彰事業関係)

- 1 従来通り、篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員20名に対して会長表彰を実施したほか、連盟創立30周年に合わせ、これまでに多大な功績を残された篤志面接委員5名及び継続的な支援をしてきた法人5団体に対して会長特別表彰を実施した。
- 2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員に対する法務大臣、矯正管区長、管区管内篤志面接委員協議会会長などの感謝状の授与に際して祝意を表した。

(慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して、表敬・慰謝を行った。

(広報・機関誌事業関係)

- 1 ホームページを更新し、内容の充実と広報活動の充実を図った。
- 2 機関誌「全篤連だより」を平成29年7月、同30年3月に発行した。
- 3 連盟創立30周年記念事業の一環として、「篤志面接委員手帳」を平成29年12月に発刊した。
- 4 研究会、協議会の記録誌の出版：連盟創立30周年記念大会（全国篤志面接委員大会）、各管区管内篤志面接委員協議会（講演会）及び第4回初任者研修会の実施に際し記録誌を発行した。

(事務局関係)

- 1 事業運営目標達成に向け、その基礎となる次の点に留意した。
 - (1) 引き続き、税理士と契約し財務の指導を受けるとともに、毎月の予算執行状況を監事に報告するほか、監事による10月までの上半期の中間監査を実施するなど、財務状況の把握を確実にした。
 - (2) ホームページを適宜更新し、連盟からの広報活動の積極化に努めた。

- 2 矯正施設賛助会員制度が発足し、多数の方の申し込みがあった（平成30年1月23日現在183名）。
- 3 創立30周年記念大会に向けて、在京施設の篤志面接準備委員による実行委員会において具体的な内容の検討を行った。
- 4 予算執行について
 - （1）創立30周年記念大会を実施するため、最終年度としての特設費用準備資金を計上して、予算の確保を図った。
 - （2）法人会計については、予算内に収めるため、経費を節減した。

（その他の事業関係）

- 1 法務省主催の「社会を明るくする運動」に協力をした。
- 2 東京都共同募金会主催の、「NHK歳末たすけあい」に協力した。